

令和 7 年度事業報告

社会福祉法人 信楽福祉会

社会福祉事業

(1) 第1種社会福祉事業

特別養護老人ホーム「信楽荘」

従来型特養	定員 40 名
ユニット型特養	定員 60 名

(2) 第2種社会福祉事業

(イ) 老人デイサービス事業「信楽荘デイサービスセンター」

通所型サービス	定員 25 名
(月～金曜日)	

(ロ) 老人短期入所事業「信楽荘ショートステイサービス」

定員 10 名

(ハ) 認知症対応型共同生活介護「グループホーム笑楽」

定員 2 ユニット 18 名

公益事業

(1) 信楽荘居宅介護センター

令和7年度 社会福祉法人 信楽福祉会 事業報告

基本理念

1. 誰もが住み慣れた地域の中で、安全かつ安心して普段と変わらない、その人らしい生活が続けられるような憩いの場を提供します。
2. 家族や地域の方々にサポートしていただきながら、ご利用者の立場にたち、プライバシーや基本的人権を配慮しながら、その人らしい自律した社会生活が送れるよう温かいサービスの提供を目指します。

信楽荘

「信楽荘 理念」

Welfare しがらき 共に笑い 伴に生きる

信楽荘に関わる全ての「人」にとっての幸福・繁栄・快適な生活の実現をめざし、その理念に沿った事業活動を信楽発で行います。

「信楽荘 職員の心構え」

1. 私たちは、「思いやり」のある「温かい心」で介護に努めます。
1. 私たちは、「謙虚な姿勢」で「誠意ある質の高いサービス」に努めます。
1. 私たちは、「専門職」として「技術の向上」をめざし最善を尽くします。
1. 私たちは、「愛され」「親しまれ」「信頼される」施設をめざします。

基本的理念を達成するため「職員の心構え」を全員が周知徹底し、職員のモラルの向上を図り利用者へのサービス向上に努めます。

令和7年度 事業別実績報告

特別養護老人ホーム 信楽荘

令和8年6月4日

1、総 括

2、年間入所(利用)者数 (R7.4.1～R8.3.31)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
種別													
延人数	3,414	3,473	3,403	3,541	3,564	3,406	3,386	3,348	3,463	3,399	3,196	3,410	41,003
定員数	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118	1,416
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日当たり平均人員	113.8	112.0	113.4	114.2	115.0	113.5	109.2	111.6	111.7	109.6	114.1	110.0	112.3
入所者数	2	4	3	0	1	2	0	5	5	5	3	5	35
退所者数	3	3	1	0	2	1	3	5	6	3	5	4	36
入院者数	82	150	105	122	58	130	216	70	48	163	225	126	1,495
1日当たり平均人員	2.7	4.8	3.5	3.9	1.9	4.3	7.0	2.3	1.5	5.3	8.0	4.1	4.1
空床数	48	51	44	0	42	11	102	96	99	105	80	48	726
1日当たり平均空床	1.6	1.6	1.5	0.0	1.4	0.4	3.3	3.2	3.2	3.4	2.9	1.5	2.0

3、信楽荘施設全体職種別職員数 (R7年3月31日現在)

職種 形態		施設長 管理者	副施設長	課長	管理職 合計	総務 事務	介護支援 専門員	生活 相談員	看護師 機能訓練 指導員	介護員	管理 栄養士	調理員	業務員	職員 合計
施設全体(SS含)	正職	1	1	2 (兼務)	4	4	2 (2人兼務)	2	5 (1人兼務)	38	1	5		54
	パート					2			5 (1人兼務)	21		4	1	32
デイサービス	正職	1 (兼務)			1			1 (1人兼務)	2 (1人兼務)	3				4
	パート									2			4	6
グループホーム	正職	1 (兼務)			1					7				7
	パート						1		1 (1人兼務)	11				12
居宅支援	正職	1 (兼務)		1 (兼務)	1		3 (1人兼務)							2
	パート						2							2
合 計		4	1	3	7	6	5	2	9	82	1	9	5	134

4、年間行事実施内容

別 紙 の 通 り

5、各種職員研修および会議、介護体験・ヘルパー・介護福祉士養成学校実習受入、施設交流訪問、各種慰問等ボランティア、各種奉仕、荘内会議・委員会、

別 紙 の 通 り

6、その他

令和7年度 事業別実績報告

1、小規模特養(従来型多床室) [定員:40名]

令和8年6月4日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
定員数	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	480
延べ人員	1,119	1,132	1,159	1,211	1,240	1,144	1,072	1,082	1,162	1,147	998	1,138	13,604
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日当り平均人員	37.3	36.5	38.6	39.1	40.0	38.1	34.6	36.1	37.5	37.0	35.6	36.7	37.3
稼働率(%)	93.3	91.3	96.6	97.7	100.0	95.3	86.5	90.2	93.7	92.5	89.1	91.8	93.2
利用金額(万円)	1,461	1,488	1,525	1,587	1,623	1,502	1,469	1,753	1,551	1,515	1,319	1,476	18,443

2、ユニット型特養 [定員:60名]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
定員数	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	720
延べ人員	1,764	1,794	1,704	1,772	1,766	1,730	1,756	1,735	1,749	1,694	1,694	1,714	20,872
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日当り平均人員	58.8	57.9	56.8	57.2	57.0	57.7	56.6	57.8	56.4	54.6	60.5	55.3	57.2
稼働率(%)	98.0	96.5	94.7	95.3	94.9	96.1	94.4	96.4	94.0	91.1	100.8	92.2	95.3
利用金額(万円)	2,708	1,789	1,647	2,758	2,755	2,688	2,730	2,727	2,734	2,662	2,341	2,661	32,378

3、ショートステイ [定員:10名]

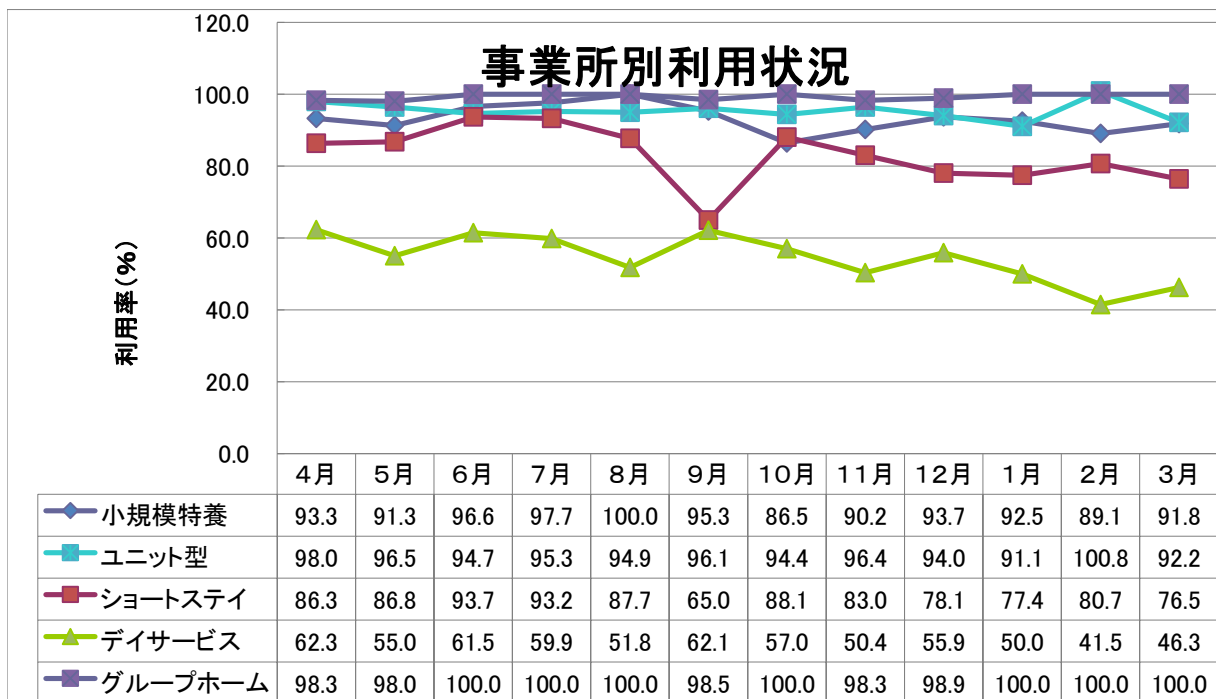
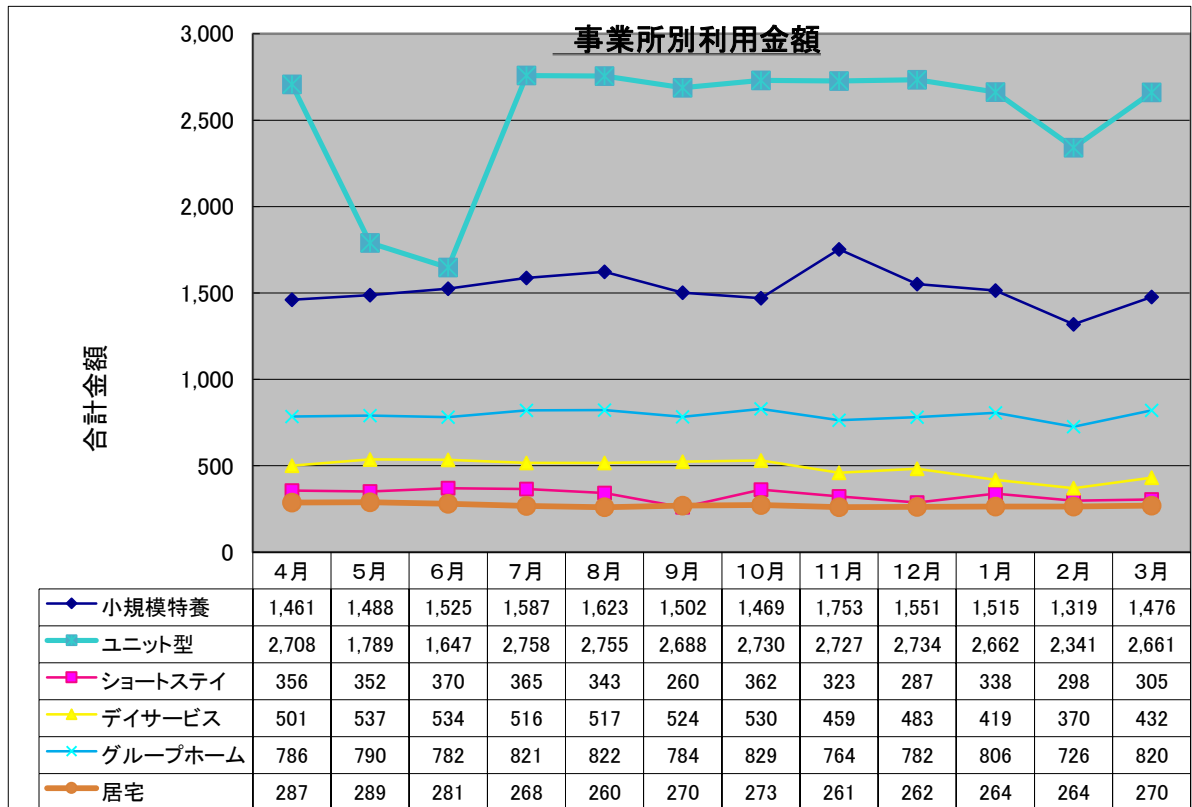
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
延べ人員	259	269	281	289	272	195	273	249	242	240	226	237	3,032
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日当り平均人員	8.6	8.7	9.4	9.3	8.8	6.5	8.8	8.3	7.8	7.7	8.1	7.6	8.3
稼働率(%)	86.3	86.8	93.7	93.2	87.7	65.0	88.1	83.0	78.1	77.4	80.7	76.5	83.0
利用金額(万円)	356	352	370	365	343	260	362	323	287	338	298	305	3,979

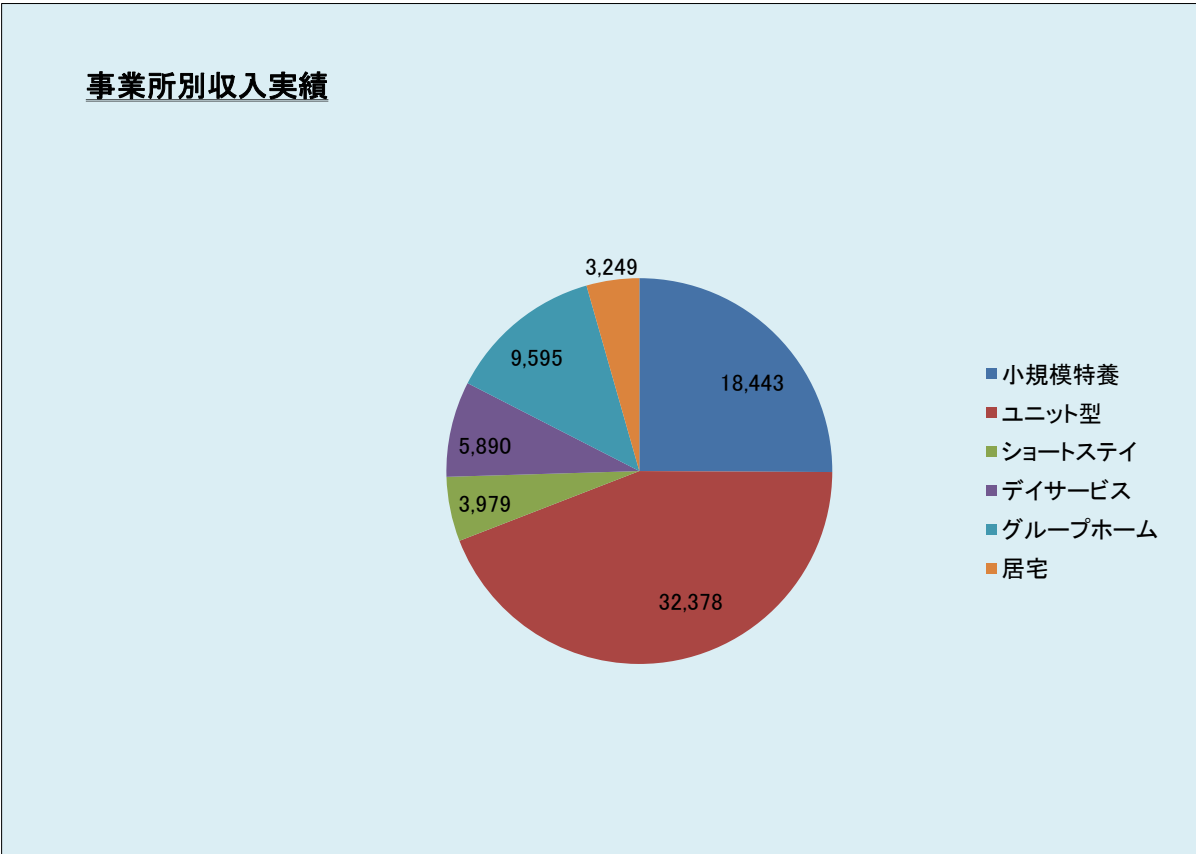
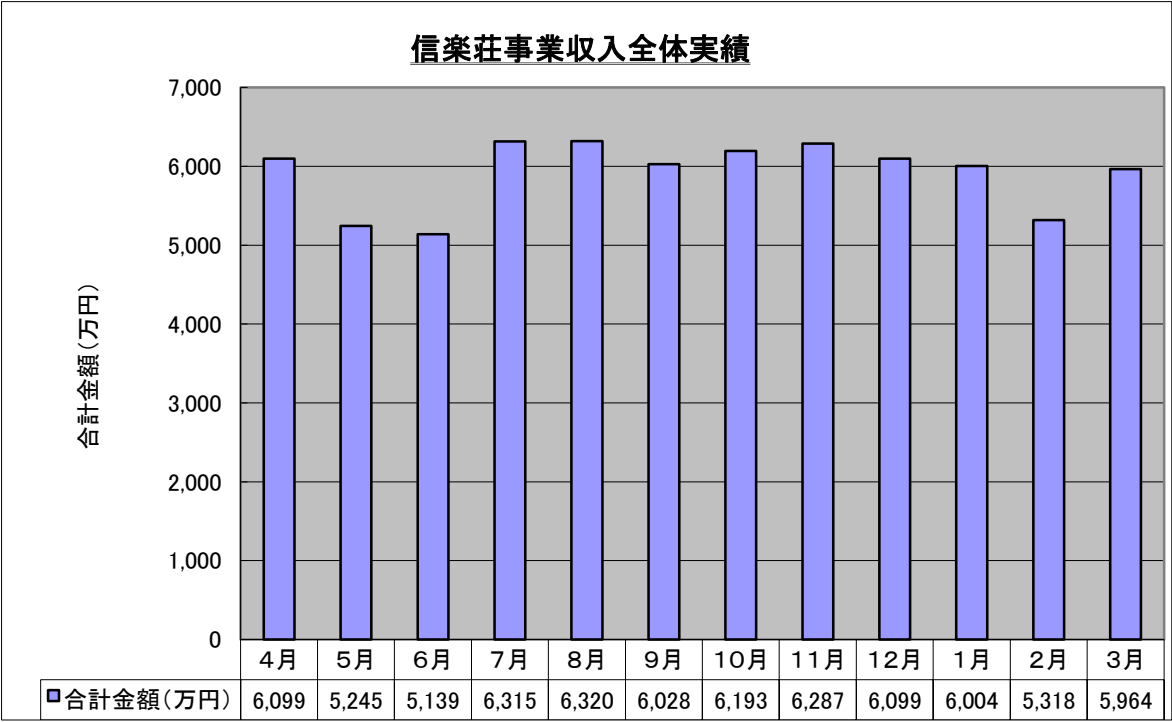
4、デイサービス(通常型) [定員:25名]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
延べ人員	436	443	452	461	417	435	439	388	411	350	305	340	4,877
当月日数	20	23	21	22	23	20	22	22	21	20	21	21	256
1日当り平均人員	21.8	19.3	21.5	21.0	18.1	21.8	20.0	17.6	19.6	17.5	14.5	16.2	19.1
稼働率(%)	62.3	55.0	61.5	59.9	51.8	62.1	57.0	50.4	55.9	50.0	41.5	46.3	54.4
利用金額(万円)	501	537	534	516	517	524	530	459	483	419	370	432	5,890

5、グループホーム [定員:18名]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
定員数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
延べ人員	531	547	540	558	558	532	558	531	552	558	504	558	6,527
当月日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
1日当り平均人員	17.7	17.6	18.0	18.0	18.0	17.7	18.0	17.7	17.8	18.0	18.0	18.0	17.9
稼働率(%)	98.3	98.0	100.0	100.0	100.0	98.5	100.0	98.3	98.9	100.0	100.0	100.0	9124
利用金額(万円)	786	790	782	821	822	784	829	764	782	806	726	820	9,595





令和 7年 3月 7日作成

令和7年4月10日作成

今年度目標	今年度目標
”その人らしさ”を大切に入居者・職員ともに笑顔で1日1日を過ごせるように	”その人らしさ”を大切に入居者・職員ともに笑顔で1日1日を過ごせるように

基本方針 信楽荘理念・信楽荘職員の心構えを念頭に置き、「入居者・職員ともに笑顔で1日1日を過ごせるように」をユニット内の年間目標とし、入居者・職員が笑顔で過ごせる時間が少しでも長くなるよう、支援・計画を行っていきます。入居者お一人お一人が、”その人らしく”生活出来るよう、支援していきます。また、職員においては、働きやすい環境を作るため、適宜、業務の見直しを行い、月に1回の定例会議で意見の交換・情報の共有を行います。	報告 今年度は、ご家族を交えた運動会を開催し、職員・利用者・ご家族がともに楽しむイベントを実施することができた。一つのイベントを通して、笑顔を引き出すことができたと感じている。また、インカムについても本格導入を行い、申し送りや伝達事項など、円滑に実施できるようになってきている。今後も引き続き、円滑な伝達ができるように継続していきたい。
---	--

項目1 生活の質の向上					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
入居者の出来ること・やりがいを考える	○		○		入居者にしてもらえることが限られており、一部の入居者の方となってしまう多くの入居者に広げることができなかった。	○		○	
季節を感じられる環境(人的・物的)作り	○		○		季節に応じたイベントを実施し、都度、飾り付けなどを行った。	○		○	
役割を持った生活	○		○		毎日の味噌汁作りを始め、一人ひとりでできることを見極めながら、イベント等でも役割をもって実施した。	○		○	

項目2 情報・課題の共有・改善					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
月に一回の定例会議を行う	○		○		月に一回の会議を開催し、都度情報の共有を行った。	○		○	
メルタスを活用し情報の共有を行う	○		○		日々の申し送りをメルタスを活用し、情報の共有を行った。	○		○	
必要に応じての職員面談を行う			○		随時、個別の面談を実施した。			○	

項目3 ケアの統一、知識・技術の向上					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
定期的な勉強会の開催			○		各法定研修の受講を勧めるとともに、現場で出た課題に対して、勉強会を開催した。			○	
メルタスでの情報の発信・共有	○		○		メルタスの会議室・回覧板を使用し、情報の発信・共有を行った。	○		○	
新人職員の指導・育成	○		○		新人職員については、指導担当者をつくり、メルタスで進捗の確認を行いながら指導・育成を行った。	○		○	
外部研修への参加			○	○	ノーリフト・救命講習等、積極的に参加した。			○	○

項目4 看取りケアの充実					項目4				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
ご本人・家族の意向に沿った計画	○	○	○	○	生活歴をもとに、本人や家族の意向を聞きながら、看取り介護を行った。	○	○	○	○
”その人らしさ”を感じられる設え作り	○	○	○	○	生活歴をもとに、本人や家族の意向を聞きながら、お部屋の設えを行った。	○	○	○	○
こまめな家族連絡の実施	○	○	○		ご本人の状況を含め、定期的な連絡を行った。	○	○	○	
最期の一瞬まで寄り添うケアの実施	○	○	○		孤独を感じないよう、できる寄り添うことを心がけた。	○	○	○	
勉強会の開催			○		看取りとはというところから、勉強会・回覧を行った。			○	
振り返りのカンファレンスの開催	○	○	○		定例会議において、振り返りカンファレンスを行った。	○	○	○	

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
4月・・・花見ドライブ	○		○	○	家族を巻き込んだ運動会を開催した。準備期間から利用者とともに取り組むことを大切に、実行できたことは、今後にもつなげることができると考えている。今後も同様の企画を行っていききたいと思う。 他のイベントについても、利用者の”やりたい””食べたい”に耳を傾け、企画・実施を行った。 個別の外出等の企画が少ないため、次年度以降は、個別での計画も実施していきたいと思う。
5月・・・食事作り	○		○		
6月・・・七夕準備・おやつ作り	○		○		
7月・・・ユニット内バーベキュー	○		○		
8月・・・花火・スイカ割り	○		○		
9月・・・ユニット内夏祭り	○		○		
10月・・・焼き芋・文化祭作品作り	○		○	○	
11月・・・文化祭・紅葉ドライブ	○		○	○	
12月・・・クリスマス忘年会（鍋会）	○		○		
1月・・・新年会・正月遊び	○		○		
2月・・・豆まき・恵方巻作り	○		○		
3月・・・ひな祭り	○		○		

令和7年3月10日作成

令和 8年4月15日作成

今年度目標	今年度目標
利用者、家族、関係事業所に安心・信頼されるショートを目指す	利用者、家族、関係事業所に安心・信頼されるショートを目指す
基本方針 「信楽町内でショートはここしかないから嫌々利用する」ではなく、「信楽荘のショートを利用して良かった」と思ってもらえるように努力する。利用者、家族が在宅生活を望まれる状況において、ショートとしてできる限りの連携支援を行う。	病院が「ショートステイの様な役割」を担うようになったことが、従来の介護保険によるショートステイのあり方に大きな影響があり、ショート利用者の絶対数が減っていると感じている。ショートステイのサービスの質をより意識する必要があると感じている。「安心・信頼」を感じていただけるように努めなければいけないという気持ちにさせられる一年であった。

項目1 生活の質の向上									
計画内容	利用者	家族	職員	地域		利用者	家族	職員	地域
塗り絵、脳トレ、動画体操等、利用者が選択するものの提供	○		○		できる限り準備を行っているが、特定の職員が準備しており、職員の意識は高くない。	○			
希望される方への面会機会の提供	○		○		希望を聞いている方は対応している。	○			

項目2 情報共有と課題検討									
計画内容	利用者	家族	職員	地域		利用者	家族	職員	地域
定例会議の実施	○		○		併設入所と同様に実施できているが、ショートステイに関する内容は充実しているとは言えない。	○		○	
必要な利用者情報の申し送りと共有	○		○		夜勤者が翌日利用の方の情報を入力することになっている。ただ、勤務者がどこまでその情報を意識して対応できているかについては不十分と言える。	○		○	
家族、関係事業所への情報提供（ショートだから見える部分や連携が必要な内容）		○		○	特別な内容については相談員等から報告している。		○		○
リーダー会議での課題共有と解決に向けた	○		○		ショートステイに関する検討を継続して行っている。	○		○	

項目3 ニーズ把握とサービスの質の向上									
計画内容	利用者	家族	職員	地域		利用者	家族	職員	地域
アンケートの実施と結果に対する検討	○	○	○	○	アンケートを実施し、結果については利用者家族や関係職員に公表している。その結果をもとに、連絡帳の改善等に着手したい。	○	○	○	○

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	
4月・・・花見ドライブ	○		○	○	併設の入所の行事にショートステイ利用者も参加することができた。行事が定期的に行われることで、以前よりは充実できていると言える。
5月・・・食事作り	○		○		
6月・・・七夕準備・おやつ作り	○		○		
7月・・・ユニット内バーベキュー	○		○		
8月・・・花火・スイカ割り	○		○		
9月・・・ユニット内夏祭り	○		○		
10月・・・焼き芋・文化祭作品作り	○		○	○	
11月・・・文化祭・紅葉ドライブ	○		○	○	
12月・・・クリスマス忘年会（鍋会）	○		○		
1月・・・新年会・正月遊び	○		○		
2月・・・豆まき・恵方巻作り	○		○		
3月・・・ひな祭り	○		○		

令和 7年 3月 9日作成

令和 8年 4月 8日作成

今年度目標					今年度目標に対する総括				
「やさしい介護・頼られる介護・ご希望を引き出せる介護」を行います					完全ではないものの可能な限りご希望に沿った対応ができたものと考えています				
基本方針					報告				
ご利用者さまは身の回りのことをわたしたち職員にゆだねて暮らして下さっています。「暑い・寒い・痒い・痛い・お腹が減った・ご家族に会いたい」どのようなご希望も、いつでも何度でも、安心して訴えていただくことができる「やさしい介護・頼られる介護・ご希望を引き出せる介護」を行います。					物振られ妄想のあるご利用者さまの訴えや、抑うつ状態があり「死んだほうがマシだ」と訴えるご利用者さまに対しても、可能な限り受容的な対応を取って参りました。また、積極的な気分転換として個別に外出を企画するなど、できる範囲で快適な暮らしのデザインに努めました。一方で寝たきりのご利用者さまには、ご家族とも連携し好みの飲食物の持参を都度お願いするなどの対応を続けて参りました。				
項目1 生活の質の向上					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
お一人おひとりの“今”に合わせた最適な暮らしが整うよう、衣・食・住を何度でも見直し、調整します。	○		○		「衣・住」は未達の面が多く残りました。他の業務に追われることが多く、各スタッフへの業務割当も最適化できなかったことが一因と考えております。	○		○	
ご利用者さまの「できること・できたこと」に注目し、共に喜び感謝をあらわします。認知症の世界に寄り添い、否定することのない生活を保証します。	○		○		ある程度達成したと考えます。来季以降、認知症の体系的な理解を部署全体で進め、専門的なアプローチのチームケアを心がけます。	○		○	
写真や動画でご利用者さまの“今この瞬間”を切り取ります。ご家族さまやご本人さまにいつれ懐かしんでいただける思い出を残します。	○	○	○		概ね達成できました。	○	○	○	
項目2 環境作り					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
季節を感じていただけるようレイアウトを整えます。煌きテラスでの朝食など、何気ない日常に彩りを作り出し、優雅な暮らし演出します。	○		○		一部の熱心な職員の自主努力により概ね達成できたものと考えます。	○		○	
個人の個性を感じていただけるお部屋作りを行います。テレビ、音楽、写真、絵、ご家族の手紙など、お好みに合わせてレイアウトします。	○		○		未達の面が多く残りました。来季以降、レイアウトの前段として清潔の担保や暮らしやすい整理整頓を仕組み化したいと考えます。	○		○	
ご家族やご友人と「共に暮らしている」と感じられるよう、面会やテレビ電話、外出の機会を設ける働きかけを行います。	○	○	○		ご利用者さまごとに差がありますが、“働き掛け”としては概ね達成できたものと考えます。	○	○	○	
項目3 虐待防止計画と職員の在り方					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
不適切なケアを見つけたら、複数の職員で共有し必ず本人に指摘します。本人と一緒に再発防止策を作成し共有します。			○		概ね達成できたものと思います。介護拒否のあるご利用者へのケアの結果、皮下出血などの外傷を招くことがありましたが、本人はじめチームでの共有を行い個別事案ごとに対応を考えて参りました。			○	
原因不明のトラブルは必ず全員で共有し、再発がないかモニタリングを行い、開示します。解決しなければ上司へ報告します。			○		大きく問題になるような「原因不明のトラブル」は見受けられなかったと考えております。			○	
職員個人の弱みや失敗、ナラティブの開示を称賛します。一人で抱えこまないようダイアログを通して、補いあえるチーム・仲間作りを行います。			○		未達の面が多く残りました。来期以降、多様な考えの職員の意見を調整し、心理的安全性向上を課題として取り組みます。			○	
担当職員は担当ご利用者さまの「項目1・2」の実行役を責任を持って行います。	○	○	○		未達の面が多く残りました。担当職員には得手不得手があり「基準と裁量」及び「役割の明確化」など、仕組み設計の余地が多く残りました。			○	
ご家族さまには、お手紙に加えて電話や面会時などにも近況をお伝えし、開かれた施設を作りを行います。	○	○	○		概ね達成できたものと思います。	○	○	○	
年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価				
4月…煌きテラス竣工記念式典、お花見	○	○	○		4月…お花見(桜の下で天ぷら懷石)	○	○	○	
5月…担当職員とご利用者さまと一緒に企画	○		○		5月…煌きテラス竣工記念式典(出張回転寿司)	○		○	
6月…担当職員とご利用者さまと一緒に企画	○		○		6月…担当職員とご利用者さまと一緒に企画	○		○	
7月…七夕のお願いごと、流しぞうめん	○		○		7月…七夕のお願いごと	○		○	
8月…恒例！きらめき夏祭り	○	○	○		8月…夏祭り(流し素麺、盆踊り、花火、屋台ご飯)	○		○	
9月…秋の大感謝祭(施設全体行事として提案)	○	○	○	○	9月…秋空喫茶への参加	○	○	○	○
10月…担当職員とご利用者さまと一緒に企画	○		○		10月…担当職員とご利用者さまと一緒に企画	○		○	
11月…紅葉狩り、焼き芋	○		○		11月…未実施	○		○	
12月…クリスマス忘年会	○	○	○		12月…未実施	○	○	○	
1月…初詣	○		○		1月…初詣、絵馬に願い事を書く	○		○	
2月…担当職員とご利用者さまと一緒に企画	○		○		2月…未実施	○		○	
3月…担当職員とご利用者さまと一緒に企画	○		○		3月…未実施	○		○	

今年度目標					今年度目標				
利用者の笑顔があふれる空間にする。					利用者の笑顔があふれる空間にする。				
基本方針 基本理念を再度意識し介護に関わる。 利用者の思いや尊厳を尊重し丁寧な介護を行えるように職員一人ひとりが意識できるようにする。 情報の共有の抜けをなくしていく。					報告 今年度は慢性的な人員不足により、他部署からの応援を得ながら勤務体制を維持する厳しい状況でした。しかし、リーダー交代による新体制のもと、職員一人ひとりが基本理念や「尊厳を尊重した丁寧な介護」を意識し、限られた人員の中でもできる限りのイベント企画を実施するなど、笑顔あふれる空間づくりに尽力しました。課題であった情報共有については、電子ツールや口頭伝達を組み合わせ、周知徹底を図りました。				
項目1 生活の質の向上					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
利用者の出来ることややりがいを考える	○		○		日々の業務や人員不足によりまとまった時間を確保することが難しく、個別の出来ることや「やりがい」を見つけて支援する取り組みについては十分に実施できなかった。	○		○	
月一回以上のレクリエーションを行う	○		○		人員体制が厳しい状況下ではあったが、職員間で工夫しながらイベントを企画し、限られた中でレクリエーションを実施して利用者様に楽しんでいただくことができた。	○		○	
日常的にコミュニケーションを取りその人のやりたいことを聞く	○		○		業務の合間を縫ってコミュニケーションを図るよう努めたが、ゆとりと思い聞き取る時間を取ることは難しかった。今後は短い時間でもニーズを拾えるよう意識したい。	○		○	
項目2 情報の共有					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
メルタスを活用し職員がわかりやすい情報の共有をする			○		メルタスの活用については運用が不十分な部分があり、全体への定着には至らなかった。今後はより使いやすい運用方法を検討していく必要がある。			○	
定例会議の実施			○		人員不足や日々の業務対応に追われ、職員全員が集まる定例会議を開催することができなかった。代替となる情報共有の場づくりが今後の課題である。			○	
ノートを活用し申し送りなどの抜けを無くせるようにする			○		ノートを活用した申し送りは実施でき、日々の伝達手段として運用できた。ただし、各自の確認漏れや「書くだけ」にならないよう、より確実な情報共有を意識していきたい。			○	
項目3 職員の質の向上					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
勉強会の実施			○		日々の業務多忙や人員不足のため、まとまった時間を確保することが難しく、今年度はユニット内での勉強会を実施することができなかった。				
必要時に職員の面談を行う			○		堅苦しい「面談」という形式にはこだわらず、相談や要望（ニーズ）がある職員に対しては随時時間を設け、個別に話を聴きフォローする機会を持つことができた。			○	
利用者さまへの丁寧な言葉使いの徹底			○		日々の関わりの中で言葉遣いが馴れ合い（なあなあ）になってしまう場面が見受けられたため、その都度声かけや注意を行い、基本理念に沿った丁寧な対応への意識付けを図った。			○	
項目4 ユニット内の環境、衛生維持					項目4				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
週一回の居室掃除、ベッドメイキング			○		週1回の居室掃除およびベッドメイキングは滞りなく実施できた。特にハンディタイプの掃除機を導入・活用したことで、清掃にかかる手間と時間を大幅に省くことができた。	○		○	
定期的なフロアの掃除			○		居室と同様に、フロアの定期的な掃除も適宜実施することができ、ユニット内の清潔な生活環境の維持に努めた。			○	
定期的に次亜水を使用し感染予防に努める			○		次亜塩素酸水を最大限に活用し、入浴後や汚れが気になった際など、必要に応じて都度使用することで、徹底した感染予防と衛生管理を行うことができた。	0		○	

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
花見、誕生会	○		○		今年度は慢性的な人員不足のため、利用者様の安全確保と日々の基本的なケアを最優先とせざるを得ず、計画していた外出や季節行事のほとんどを実施することができなかった。大変心苦しい結果となったが、来年度は現在の職員体制でも安全かつ無理なく実施できるよう、日常の中で季節感を感じられる小規模な企画へと年間計画自体を根本から見直していきたい。
森林浴、誕生会	○		○		
外食ドライブ、誕生会	○		○		
七夕、流しソーメン、誕生会	○		○		
夏祭り、誕生会	○		○		
居酒屋、誕生会	○		○		
外食ドライブ、誕生会	○		○		
紅葉ドライブ、焼き芋、誕生会	○		○		
クリスマス忘年会、誕生会	○		○		
初詣、お茶会、誕生会	○		○		
節分、居酒屋、誕生会	○		○		
ひな祭り、梅林散策、誕生会	○		○		

令和 7年 3月9日作成

令和 8年 4月 1日作成

今年度目標					今年度目標				
入居者様の意思に沿った望む生活を送っていただけるよう支援していく					入居者様の意思に沿った望む生活を送っていただけるよう支援していく				
基本方針					報告				
入居者様の暮らしの場を効率よい介護の作業場所にならないよう入居者様の方が安心して生活を送れる場所を目指す。個別対応として一人一人の入居者と向き合い理解を深め信頼維持を図る。入居者様とご家族が良好な関係を続けられるよう職員が配慮、提案に努めていく。					今年度は慢性的な人材不足により、どうしても食事・入浴・排泄などの基本的な生活援助を優先せざるを得ず、個別対応の時間を十分に作ることが難しい一年でした。しかし、大きな事故が起きないよう安全な生活の提供には全力で努めました。令和8年2月1日より新リーダーが着任し、来年度へ向けて入居者様が安心して生活を送れる環境づくりを再構築しているところです。				
項目1 入居者様の生活意欲の向上を図る。					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
季節を感じてもらえる行事を実施する。	○	○	○		人員不足のため、季節の行事や家族との外出を計画通りに実施することは困難でした。				
家族の協力のもと外出(自宅等)などの家族との時間作り。	○	○	○		業務に追われてゆっくり関わる時間を確保することも難しかった。			○	
入居者様との食事、排泄、入浴以外の関わる時間の確保する。	○		○		日々の短いケアの時間に少しでも会話を増やせるよう努めました。				
項目2 活気のある職場作り					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
職員、一人一人の得意分野を活かし入居者様の満足度の向上を図る。	○		○		人が少ない中で毎日のケアを行うため、得意なことを活かす余裕がありませんでした。2月に新しいリーダーが来てからの新体制では、それぞれの良いところを活かせるチーム作りを始めています。	○		○	
大きな一つの事を全員が関わり協力のもと目標のもの完成させる。	○	○	○		人が少なく毎日の仕事で忙しかったため、大きな目標を達成することは難しかったです。2月からは新しいリーダーと一緒に、全員で協力して仕事を進めるためのチーム作りを始めています。	○		○	
業務のミスや抜けなど個別ではなく全体で改善に取り組んでいく。	○		○		忙しくて、ミスについて全員で話し合う時間がとれませんでした。2月からは新しいリーダーを中心に、ミスがあった時はすぐにみんなに知らせて、同じ間違えをしないように気をつけています。	○		○	
入居者様の生活を中心に業務に取り組んでいく。	○	○	○		人が足りないため、どうしても職員の動きやすさを優先してしまうことが多く、入居者様のペースに合わせたサポートが十分にできませんでした。	○		○	
項目3 ユニット内の環境改善					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
ユニット内のテーブルなど物の配置変更し落ち着く環境づくりをする。	○		○		人が少なく、環境を変える余裕がありませんでした。しかし、2月に新しいリーダーが来てから、すぐに入居者様が落ち着けるようにテーブルなどの場所を変え、環境を良くすることができました。			○	
業務内容の見直しを行いユニット内の活気に繋げる。	○		○		忙しすぎて仕事を見直すことができませんでした。2月からは新しいリーダーと一緒に、職員みんなですしずつ仕事のやり方を変えています。職員の心に余裕ができ、ユニット全体に活気が出てきました。			○	
入居者様の楽しみになる企画を定期的実施する。	○	○	○		人が少なく、楽しい企画を定期的に行う時間がありませんでした。2月からは新しいリーダーと一緒に、ユニットの中でできる楽しい企画を考え、少しずつ行っています。			○	
年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価				
4月 お花見ドライブ、おやつ作り	○		○	○	人が足りないため、お花見や外出などの大きな行事はほとんどできませんでした。しかし、2月に新しいリーダーが来てからは、ようやくユニットの中でできる季節の行事(豆まきなど)を少しずつ行えるようになりました。来年度は、今の人数で無理なくできる計画を立てていきます。				
5月 ピクニックランチ	○		○						
6月 紫陽花ドライブ、おやつ作り	○		○	○					
7月 花火大会	○		○						
8月 夏祭り(流しそうめん)	○		○						
9月 ピクニックランチ	○		○						
10月 焼き芋	○		○						
11月 紅葉散策、おやつ作り	○		○	○					
12月 クリスマス忘年会	○		○						
1月 新春お茶会	○		○						
2月 豆まき、バレンタイン	○		○						
3月 ひな祭り、おやつ作り	○		○	○					

令和7年3月4日作成

令和8年4月6日作成

今年度目標	今年度目標
ご利用者様が安心・安全に過ごせるよう支援する。また、残存能力を引き出せるような声かけ・活動を取り入れ活気あふれるデイサービスセンターを目指す。	ご利用者様が安心・安全に過ごせる様に支援する。また残存機能を引き出せるような声かけ・活動を取り入れ活気あふれるデイサービスセンターを目指す。

基本方針 信楽荘理念・職員の心構えのもと、ご家族・関係機関との連携を密にし、ご利用者には住み慣れた地域で『安心で・穏やかに・話が弾む場』であるよう努めます。また、デイサービスを利用することで社会的孤立の解消及び心身・機能の維持向上を図るとともに、ご家族の身体的・精神的負担軽減に努めます	報告 大きな事故もなく、安全に過ごしていただく事が出来た。また、体操や個別機能訓練を通して活動の機会を提供し、個々の残存能力を引き出す取り組みが出来た。
---	--

項目1 生活の質の向上					項目1 生活の質の向上				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
身体機能低下予防に向けた活動の提供	○		○		積極的に取り組むことが出来た。	○		○	
利用者間や職員との交流機会の提供	○		○		お話する機会を多く持つように心がけた。	○		○	
清潔を保つ（入浴・排泄介助・体調観察）	○		○		個々に合わせた方法で必要な介助が出来た。	○		○	
利用者の生きがいを探す	○	○	○		できる事。を見つけ出し活気を引き出す事が出来た。	○	○	○	
信頼関係の構築・目配り・気配り	○	○	○		利用者の思いに寄り添う取り組みが出来た。	○	○	○	
レクリエーション（脳トレ・体操等）の計画・実施	○		○		活気のあるレクリエーションが出来た。	○		○	

項目2 課題の共有・改善					項目2 課題の共有・改善				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
関係機関との連携・情報共有	○		○	○	連携を密にし早急に対応出来た。	○		○	
利用者との面談実施	○		○		傾聴する機会を多く持つ事を意識して関わることが出来た。	○		○	
職員間の連携・情報交換			○		話し合いの場を持つことが出来た。			○	
勉強会の実施			○		課題解決に向けた勉強会を実施出来た。			○	
ご家族への聞き取り（ご家庭での様子等）	○	○	○		送迎時や連絡ノート等で情報の聞き取りが出来た。	○	○	○	

項目3 体調管理					項目3 体調管理				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
感染症予防対策の実施	○	○	○		感染症予防策を実施し、感染症の発生を防ぐ事ができた。	○	○	○	
来荘時のバイタル測定	○		○		日常のバイタル値を比較する事ができ、特変に対応できた。	○		○	
体調面の聞き取り	○	○	○		体調面の不安を聞き取り、受診に繋げる等対応ができた。	○	○	○	
緊急時の迅速な対応	○	○	○		特変や急変時、家族や関係機関に早急に連絡することが出来た。	○	○	○	
各関係機関との連携			○	○	連絡を密にし、必要な対応が迅速に出来た。			○	○

項目4 環境整備					項目4				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価 環境整備	利用者	家族	職員	地域
大掃除の実施			○		7月・12月に実施した。			○	
貸し出し用の車イス・老人車の定期的な整備			○		定期的な点検と、日常的な確認ができた。			○	
危険箇所の点検（フローア・浴室・トイレ等）			○		日常的に点検し、不具合が発生した際は、迅速に対応出来た。			○	

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
レクリエーションの計画・実施（週替り）	○		○		食事前・レクリエーション前や帰宅前の歌体操で体を動かす機会を提供し、活動意欲を引き出すことが出来た。 年2回の大掃除を実施することで、清潔な空間を保つことができ、気持ちよく過ごしていただく事が出来た。 年間行事計画に関する話し合いを行い、行事の変更やより良いアイデアを出し合い臨機応変に実施する事ができた。 職員間で声をかけ合い、WEB研修等の受講忘れを防ぐ事が出来た。 1月より職業訓練実習生の受け入れを行い、必要な指導・助言を行うことが出来た。
デイサービスだよりの発行（毎月）			○		
カレンダー作成（毎月）	○		○		
季節に応じた写真撮影（桜の時期等）	○		○		
大掃除（7月・12月）			○		
敬老のお祝い会（9月）	○		○		
クリスマス・忘年会（12月）	○		○		
勉強会の実施（虐待防止・事故防止等）			○		
おやつ作りの提供					

令和 7年 3月 4日作成

令和 8年 4月 10日作成

今年度目標	今年度目標
みんな笑顔で楽しく地域の一員で一人一人の為に	みんな笑顔で楽しく地域一人一人の為に

基本方針 GH笑楽の理念をもう一度意識し、理念に沿った職場を目指す。 理念の「みんな」という点について特に意識し、入居者様も職員も笑顔でいてくれるような環境を目指していく。	報告 月に一回以上の季節に応じた行事を行い、入居者様も職員も楽しく過ごせたのではないかと思います。日頃からの関わりも利用者様目線ということを意識し、関わっていったのではないかと思います。来年度も家族様参加型のグループホーム内でのイベントを開催していきたい。
---	--

項目1 入居者様の理解と生活の質の向上					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
定例会議で入居者様の情報交換、問題提起	○		○		実施でき、職員間での共有もできた	○		○	
入居者様とできるだけ関わりを持つ	○		○		出来ていなかった職員にも声をかけ、出来るようになった	○		○	
メルタスや連絡ノートでの情報共有	○		○		連絡ノートを廃止し、メルタスのみで行った。初の試みなので、疎かになった部分もあった	○		○	
入居者様の意向に沿った対応をする	○		○		出来る限り努めた	○		○	
認知症の行動の背景を考える	○		○		定例会議で話し合うことが出来た	○		○	

項目2 職員の質の向上					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
定期的な勉強会の実施			○		毎月の定例会議で認知症に関する話し合いができた			○	
必要時の職員との面談			○		必要時に実施できた			○	
年に一度の個人面談	○		○		実施できた	○		○	
利用者さんへの丁寧な言葉遣いの徹底	○		○		定例会議等で注意喚起も出来た	○		○	

項目3 情報の共有					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
ご家族様に手紙で月1回の近況報告	○	○	○		滞りなく行えた	○	○	○	
運営推進会議の議事録を送付	○	○	○		2ヶ月に一度実施できた	○	○	○	
状態の変化や処遇変更時は電話連絡	○	○	○		実施できた	○	○	○	

項目4 地域との連携					項目4				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
2ヶ月に1回の運営推進会議で近況報告	○	○	○	○	実施できた	○	○	○	○
地域の行事に参加	○		○	○	地域のイベントには、約2ヶ月に一度参加できた	○		○	○
月に1回の小学校への外出・交流	○		○	○	出来ていない事が多かった	○		○	○

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
4月 お花見ドライブ・イベント	○		○	○	
5月 新緑ドライブ・イベント	○		○	○	
6月 あじさい見学・ドライブ・七夕準備	○		○		
7月 花火・七夕	○		○		
8月 GH夏祭り	○		○		
9月 お月見イベント・ドライブ	○		○	○	
10月 コスモス畑ドライブ・GH運動会	○		○		
11月 紅葉ドライブ・イベント・クリスマス準備	○		○	○	
12月 クリスマス会	○		○		
1月 初詣・正月イベント	○		○	○	
2月 節分、豆まき、バレンタイン	○		○		
3月 ひな祭り	○		○		

令和7年 3月9日作成

令和8年4月18日作成

今年度目標	今年度目標
利用者様の在宅生活を維持できる様、地域のサービスを広げ交流を図る。	利用者様の在宅生活を維持できる様、地域のサービスを広げ交流を図る。

基本方針 利用者様の在宅生活を基本とし、利用者及び家族に寄り添い傾聴し、利用者様自身の自律した生活を送れる援助を効率的に行う。	基本方針 利用者様の在宅生活を基本とし、利用者及び家族に寄り添い傾聴し、利用者様自身の自律した生活を送れる援助を効率的に行う。
--	--

項目1 利用者の生活の質の向上と維持					項目1 利用者の生活の質の向上と維持				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	報告	利用者	家族	職員	備考
サービスを適切に提供できる	○	○	○		サービスを適切に提供できる	○	○	○	提供できました。
利用者の生活の質を維持している	○	○	○		利用者の生活の質を維持している	○	○	○	
利用者に必要なアセスメントができる	○	○	○		利用者に必要なアセスメントができる	○	○	○	ほぼできました。
利用者からの苦情等が無く丁寧に対応する	○	○	○		利用者からの苦情等が無く丁寧に対応する	○	○	○	苦情とまではないですが、注意がありました。
不足している在宅サービスを開拓していく	○	○	○	○	不足している在宅サービスを開拓していく	○	○	○	いくつかは出来ました。
介護・医療関係サービス事業所との連携を図る			○	○	介護・医療関係サービス事業所との連携を図る			○	包括ケアネットワークしがらき

項目2 社会福祉法人信楽福祉会職員としての関わり					項目2 社会福祉法人信楽福祉会職員としての関わり				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	報告	利用者	家族	職員	備考
信楽荘内の行事などに協力する			○		信楽荘内の行事などに協力する			○	協力しました。
信楽荘職員同士の協力ができる			○		信楽荘職員同士の協力ができる			○	
信楽荘の理念に基づき意識して行動する	○		○		信楽荘の理念に基づき意識して行動する	○		○	意識して行動しています。

項目3					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	他事業所	報告	利用者	家族	職員	備考
同じシステム同士の事業所との連携をする。			○	○	同じシステム同士の事業所との連携をする。			○	○
仕事の効率化を実施する。					仕事の効率化を実施する。			○	○

項目4					項目4				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	計画内容	利用者	家族	職員	地域
BCPを理解し非常時に備える。					BCPを理解し非常時に備える。			○	
BCPに基づいて、常に意識しておく					BCPに基づいて、常に意識しておく			○	
非常時(災害時)を意識し、連絡、調整ができる様に訓練する。					非常時(災害時)を意識し、連絡、調整ができる様に訓練する。			○	

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	
甲賀市長寿福祉課の年度初めの事業案内			○	○	
その他介護支援専門員に関する出張、研修			○	○	
信楽地域内での事例検討会及び研修会参加			○	○	
信楽荘での行事に参加、協力	○	○	○	○	
毎月の利用票配布、提供票配布、担当者会議開催	○	○	○	○	

令和 7年 3月 4日作成

令和 8年 4月 3日作成

今年度目標	今年度目標
入所者の方がその人らしく、健康で楽しく暮らせるように医療面からサポートする。	

基本方針	報告
入所者の日常の観察・情報収集・情報の共有を行い、疾病の早期発見に努め他部署・嘱託医との連携を持ち早期対処が出来るよう務める。又家族との連携を密にしターミナルケアの充実を目指します。	看取り、入院者が多く永眠された方が多かったがCW、嘱託医、家人との連携を密にし看護を行えたと思う。日常の観察、CWからの報告で早期に受診等の対応が出来た。

項目1 必要に応じた受診、入院に関わる情報提供					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
救急車要請			○	○	救急搬送10名	○		○	○
受診付き添い			○		受診者202名 入院69名	○	○	○	
					永眠者28名	○	○	○	

項目2 急変時の迅速な対応、適切な処置					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
褥瘡交換	○		○		入院中の持ち込み褥瘡が多くあり処置の継続で治癒された方もいるが荘で処置が難しい案件もあり入院治療を余儀なくされた方もいた。褥瘡に移行する前に対応し悪化を防ぐ事も出来た。	○		○	
コロナ、ノロ、インフル感染の対応	○	○	○	○	抗原検査の実施により早期発見、感染対策が出来た。入院をされた方がいた。	○	○	○	○
日々の軟膏処置等	○		○		痒み、乾燥、湿疹に対して毎日の軟膏塗布を実施した。	○		○	
インシュリン注射	○		○		入所者6名(3月末現在)ショート2～3名	○		○	
家人への説明、ムンテラ(看取りを含む)		○	○	○	嘱託医との相談の上、随時実施した。		○	○	○

項目3 健康管理を行う					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
健康診断の実施	○		○	○	在籍中の利用者全員の健康診断を実施した。	○		○	○
コロナ、インフル、肺炎球菌予防接種の実施	○		○	○	利用者、職員の希望者に実施した。	○		○	○
4回/月の嘱託医による回診	○		○	○	月4回実施。				
入所者118名、ショート利用者の内服、外用薬管理			○	○	各ユニット毎に月1度の仕分け、臨時薬の整理、毎日の服薬準備。ショート利用者の持参薬の整理を行った。			○	○
インシュリン注射の実施	○		○		インスリン、血糖値測定の実施	○		○	
ターミナルの充実	○	○	○	○	他部署との連携を密にしその人らしい最期を迎えられるよう努めた	○	○	○	○

項目4 医療、看護に関する職員のスキルアップ					項目4				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
施設内職員研修への参加			○		WEB研修の参加			○	
施設外研修			○	○	学生等の指導者研修			○	○

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
健康診断	○		○	○	健康診断については協力し短時間で終了する事が出来た。
インフルエンザ予防接種	○		○	○	予防接種については嘱託医と時間調整、各ユニットの協力です事に実施出来た。
コロナワクチン接種	○		○	○	
肺炎球菌ワクチン接種	○		○	○	今年度より肺炎球菌ワクチン、带状疱疹ワクチンの実施が始まった。

令和 7年 3月 9日作成

令和 8年 4月 3日作成

今年度目標	今年度目標
利用者の生きる意欲、喜び、楽しみに繋がる食事提供に務める。	利用者の生きる意欲、喜び、楽しみに繋がる食事提供に務める。

基本方針	利用者の身体の状況、栄養状態、生活習慣を定期的に把握し、健康維持に努め喜びや楽しみに繋がる食事提供。 利用者の食事文化、食習慣を大切にして、行事食や季節食に反映させた食事作り。	報告 利用者様の体調・状態に応じた食事の管理、提供ができた。四季のメニュー、旬の食材で季節を感じていただいた。
------	--	---

項目1 安全でニーズに合わせた食事					項目1				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
利用者の食事状態、体調に合わせた食事の提供	○		○		体調・状態の変化に合わせた食事提供ができた	○		○	
食中毒感染予防の徹底	○		○		食材管理・食品衛生の徹底に努めた	○		○	
衛生管理に注意して適温で提供	○		○		温冷配膳車の使用で適温での提供ができています	○		○	
栄養管理に基づいた食事提供	○		○		管理栄養士の基での食事提供	○		○	
栄養ケアマネジメント モニタリング作成	○		○		モニタリング作成できた	○		○	
夜間厨房内殺菌機設置					オゾン機器毎夜作動				

項目2 食事を通じたコミュニケーション					項目2				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
旬の食材を使った献立作成	○		○		季節を感じていただける献立での提供	○		○	
行事食の工夫	○		○		季節ごとの行事食の提供	○		○	
変化に富んだ食事提供	○		○		新しい献立での提供	○		○	
利用者と共に楽しむ	○		○		ソフトクリーム企画・お餅提供企画を行えた	○		○	
各ユニットへのラウンド			○		人員不足の為あまり行っていない			×	

項目3 課題の共有・改善					項目3				
計画内容	利用者	家族	職員	地域	評 価	利用者	家族	職員	地域
日々のミーティング			○		業務に追われあまり時間がとれていない			△	
給食会議、厨房会議			○		給食会議は開催できていた			○	
研修会			○		個人の研修に参加			○	

年間行事計画	利用者	家族	職員	地域	年間行事計画 評価
おひさまカフェ(不定期)	○		○		人員不足により、利用者様と関わりながらの食事提供ができなかった。季節ごとの行事食は提供できたので季節感を味わっていただけたと思う。栄養マネジメントを多職種での検討ができた。
手作りおやつ(月1回の誕生日ケーキ)	○		○		
旬の食材使用	○		○		
季節の行事食(おせち、節分、ひな祭り、創立記念日、敬老会、クリスマス等)	○		○		